劣らじと續て競出闘ふに惣軍全く力を得て。執く追して御所方を。中に捕圍攻起しかども。武勇勝れし内藤山縣東西南北に競戰て。及計利さけとぞ血戰する。竹中半兵衛を見てあれ殿を討と指揮する程こそ。木下勢の一千余人面も振らず擲て指り火燃立て散して揉返せしに。たびこれに勢力を得て奥村赤野森坂井。我や面々が手柄の程を顕る瞬こそ顕るべけれ。進めや者ども其指揮する中にも奥村平六左衛門ハ手熟し槍の三間柄を霹靂の如く奮掄し。猛士雑卒の差別なく。八幡座にまで突手にまで望光千擅地尾板腕腸肩纏あるに信せ。竪割横擲捷起く息をも次ず攻るにぞ余りに強く揉しくて。槍ハ中より折落と折り。太刀を抜て来る所を。敵競倚てむずと組む。奥村三尺の太刀あまで面側なりと從ふに敵は頭に變貌けり。我呀と一声叫びしが首挫てぞ落にける。これに劣らで

坂井。森。赤野兄弟。渡邊。内藤。五騎ハ乙騎で搦伏斬伏。獅子奮振の勢に敵ハ堪てこそ已しも隊を乱させたる。一堪にと退崩るを時分ハ能きぞと竹中が指揮を逢しと一千余人二隊にとりまきて横際より數百の鳥銃放發煙の下より一隊の騎馬武者。槍鋒そろへて突發せしかバ三好大軍なりといへども途を失ふて駁立て斬とうんだるより。三好下野守政康。新隊をもつて將是よと必死に進んで追来る。竹中これを見と見て。野村に向ふて指揮して鑓すり追立にして戰ふ事。自方の勝利おぼつかなし。あれぞ視られよ敵ハ退く新手を入なれども自軍ハ小勢のことなれば。疲れしうへに後援もなし。疲遠處を逐撲へ別に謀計これありてやと猶予より路て小返まう。三好政康これを視て其ハ旁投ふせよやと指揮せし。未だくと追蒐しかども。竹中野村後殿せしかバ御所方難なく退取て陣を厳しく殿固ぬ。敵これに從方なく。擬勢ありて喊をあげ総